



▲めむろ町民活動支援センターの皆さん。左から、栗栖尚子さん、平岡早苗さん、岡田幸造さん、西村有里さん、黒田仁美さん。

地域住民の自主的なまちづくり活動や非営利団体の活動を支援・支援する「中間支援組織」として、町民活動の拠点を担うめむろ町民活動支援センター（以下、センター）が、昨年設立20年の節目を迎えました。情報発信や団体の立ち上げ支援、町民同士の交流の場づくりなど、幅広い活動を続けてきたセンターが、その歩みを1冊にまとめた「町民活動のあゆみ」を発行しました。発行の意図や想い、そしてこれからの活動について、職員の方々に伺いました。

「記録を残したい」

平成17年に町が開設したセンターは、芽室町中央公民館1階に事務所があり、現在NPO法人まちづくりプラッツホームめむろ（岡田幸造理事長）が運営を受託しています。記念誌制作に当たっては「センター設立からこれまで20年町民活動や活動団体2住民と行政が協働でまちの課題に取り組んできたことを記録に残したい、との願いがあったそう。

センター長の西村さんは「センターでは、さまざまな想いを抱き、活動する多くの町民の方たちに出会いますが、こ

の町の営みにとってそれがとても大切なことだ、と日々実感しています。そのことを多くの町民の皆さまに知ってもらいたいと思いました」と話します。

「そこに今の『協働』の形が感じられます」

「町民活動のあゆみ」はA4判・60ページのフルカラーで発行されました。手島町長が語るセンター開設の背景や、まちづくりに関わり活動してきた団体の紹介、町民活動のこれまでに年表や写真で振り返ることができる、読み応えたっぷりの1冊です。

岡田さんは「活動紹介に掲載した団体は、子どもと大人、先生と生徒など、それぞれの取り組みの中で、世代や立場を超えて互いに尊重し合う対等なつながりがあります。そこに今の『協働』の形が感じられます。」と話します。

「一人ひとりの想いに寄り添い、サポートしていきたい」

芽室町の魅力は「エネルギーが豊富な方が多い」「協力し合える関係性がある」と職員の皆さんは口をそろえます。平岡さんは年表をまとめている中で「今に限らず、20年の



▲和気あいあいと打合せをする職員の皆さん

P35の町民活動支援センターだよりでも記念誌「町民活動のあゆみ」について掲載していますので、併せてお読みください！

でもそのような町民の姿が感じられましたと振り返ります。最後に、今後センターとしてどのような活動をしていきたいか尋ねると「これからは変わらず『何から始めたい』『誰かを応援したい』という町民の皆さま一人ひとりの想いに寄りそい、サポートしていきたいです」と話してくれました。センターの事務所がある公民館1階には、活動団体を紹介するポスターが掲示されています。「町民活動のあゆみ」も読むことができますし、希望の方に配布中です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。